

【くりっピー】

## 10回目のタイラー市訪問 初めての方が11名も

2015年10月14日(水)から19日(月)まで、周郷紀男会長を団長とする八千代市親善訪問団22名がタイラー市を訪れました。今回は訪問してちょうど10回目。秋葉就一市長ご夫妻をはじめ、初めて訪問した方は11名おり、このうち高校生1名、大学生3名が参加しました。一行は、テキサス大学タイラー校やタイラー・ジュニア・カレッジの見学、ローズ・クイーン戴冠式、ローズ・フェスティバル・パレード、クイーンズ・ティー、ホーム・ビジットなどに参加し、タイラー市民の皆さんとの友好を深めました。

(2ページから4ページに関連記事)

▼「姉妹都市の日」を10月15日とすることに決まり、記念撮影するスウィンドル会長(左)、秋葉市長ご夫妻、周郷会長ご夫妻、ハインズ市長ご夫妻(右)





# 温かい歓迎とおもてなしに感激

## 10月15日を両市の「姉妹都市の日」に

今回の訪問は、タイラー市を訪れてちょうど10回目。半数の人たちが初めてのタイラー市でしたが、残りの方々は皆顔なじみで、前回の八千代市での思い出話に花が咲いていたようです。今回もタイラー市の皆様にいろいろな催し物を用意していただき、有意義で楽しい交流になりました。2015年の姉妹都市交流を部会長の小林がご紹介します。

### ●日程表

10月14日 (水)	10:55	成田空港発 (AA176)
	8:55	ダラス・フォート・ワース空港着
	11:30	ストックヤードで牛追いを見学
	15:00	ザ・シックス・フロア・ミュージアム見学
	16:30	専用バスでタイラー市へ
	19:00	ホテル着
10月15日 (木)	10:00	タイラー市役所表敬訪問
	11:30	テキサス大学タイラー校訪問
	13:00	学生の案内でキャンパス内を見学
	17:30	歓迎夕食会
	21:00	専用バスでホテルへ
10月16日 (金)	9:30	タイラー・ジュニア・カレッジ訪問
	11:30	同校で昼食
	13:00	新ショッピングセンターへ
	15:30	専用バスでホテルへ
	16:45	パウアー邸で夕食
	19:00	ローズ・クィーン戴冠式見学
	21:00	専用バスでホテルへ
10月17日 (土)	9:00	ローズ・バレード見学
	12:15	タイラー警察署で昼食
	13:15	クィーンズ・ティー見学
	15:00	専用バスでホテルへ
	18:00	ビッグサンティー町で夕食会
	21:00	専用バスでホテルへ
10月18日 (日)	10:00	ホーム・ビジットに参加 (16:00まで)
	17:30	専用バスでパーティー会場へ
	18:00	さよならパーティー
	21:00	専用バスでホテルへ
10月19日 (月)	5:00	専用バスで空港へ
	9:05	ボストンへ (AA1264)

### ■訪問団は22名が参加 出迎えを受けタイラー市に到着

八千代市とタイラー市は1992年に姉妹都市提携をしてから今年で23年になります。2015年10月14日から19日までの第10回親善訪問団に22名（男性11名／女性11名）で、特に女性の内女子大生3名、女子高校生1名の方に参加していただきました。

10月14日の第1日目は、予定通りダラス・フォートワース空港に到着。入国検査が手間取りゲートから出るのが遅れましたが、トニー・タダサさんが出迎えてくれました。タイラー市に向け出発。夕方、市内のレストランでタイラー市長ほか幹部の方々の出迎えを受け、一緒に食事をとりました。

### ■2日目は市庁舎を表敬訪問 歓迎夕食会に出席

10月15日の2日目は10時に市庁舎を表敬訪問。タイラー市長はじめ市役所の職員等大勢の人たちが市庁舎入口の階段約30メートル両サイドに並び全員握手して出迎えてくれました。ハインズ市長及びブラウサード・シティマネージャーの歓迎のスピーチに続いて秋葉市長及び周郷会長がお礼のスピーチを行い、両市代表による記念品の交換が行われました。最後にハインズ市長より下記の「声明書」（一部抜粋。原文は4ページに掲載）が読み上げられました。「タイラー市長である私、マーティン・ハインズはタイラー市において2015年10月15日を八千代市とタイラー市の姉妹都市の日と声明する。そして、全市民に私たちの姉妹都市である八千代市の生活や市民の人々について学習することを薦める」。表敬訪問終了後市庁舎前で記念撮影。また2台の消防自動車をはしごを伸ばして歓迎のアーチを作ってくれました。

11時半ごろテキサス大学タイラー校（UTT）に到着。タイラー校は1971年に設立され、5つの学部からなる総合大学です。約7千人が在学しており大学側は学部説明や学費、奨学金などの具体的な話をしてくれただけで、学生さんたちが校内を電動カートで案内してくれました。

午後6時半からイーグルズブラッフ・カントリーク

ラブで行われた歓迎夕食会に招待されました。会場でタイラー・ジュニア・カレッジ（TJC）の学生による美しいコーラスの演奏を聴くことができ、パーティーは始終和やかなうちに過ぎました。

### ■ 3日目はTJCと ローズ・クィーン戴冠式を見学

10月16日の3日目は、午前9時半にTJCを訪問。TJCは1926年設立された公立の短期大学で、現在学生数は約1万人在学。今回は学内の看護学科を見学し、特に理学療法士の授業、歯科看護、人体モデルによる腹腔鏡手術のデモンストレーション等を見学しました。

午後7時からはUTTカーワン館でローズ・クィーンの戴冠式に招待されました。戴冠式は前夜祭として行われ、美しい女性が豪華絢爛な衣裳で2時間、次々と舞台の上に登場し、今年は「水面下の世界」がテーマで、海中の魚類と生息物をデザインした衣裳が多かったようです。

### ■ 4日目はパレード見学と クィーンズ・ティーに参加

10月17日の4日目は午前9時からローズ・フェスティバルのパレードを見学。パレードはアメリカ国旗、テキサス州旗、マーチング・バンド、地元の学生等が参加し行進。八千代市側からも秋葉市長ご夫妻、周郷会長ご夫妻とお孫さんがオープンカーに乗りパレードに参加しました。午後はバラ園でクィーンズ・ティーが行われ、夕食後、グレードウォーター・オプリーで音楽鑑賞をしました。

### ■ 5日目はホーム・ビジットと さよならパーティーに出席

10月18日の5日目は午前10時から午後4時までホーム・ビジット。7グループに分かれてホストファミリー宅へ。午後6時からはウィローブルック・カントリークラブでさよならパーティーが行われました。今回、

▼さよならパーティーも終わりに近づき記念撮影。大変有意義な訪問でした



## 訪問を終えて

八千代市親善訪問団

団長 周郷紀男



今年タイラー市と八千代市が姉妹都市提携を結んで23年になり、タイラー市への訪問は10回目となります。この長い間、タイラー市の歴代の会長さんを中心とした全てのタイラー市の皆様方が交流の絆を大切にされたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。今年の7月にはハインズ市長をはじめ、タイラー市の皆様方をお迎えし、和やかなうちに交流事業を繰り広げることができ、ご満足いただけたと思います。今回の訪問者は総勢22名でしたが、初めての方は11名で、その内4名の若い高校生と大学生が参加いたしました。一昨年の高校生10名のタイラー市の訪問や100名にも及ぶチアリーダーの八千代市への訪問など若い人たちの交流が勢いを増す力となり、両市の姉妹都市提携が文化・経済等に大きく寄与され、一歩ずつ実を結び大きな花が咲くことを信じております。

今後とも両市の友好が更に発展するようご協力をお願い申し上げ、ごあいさついたします。

日本文化を披露するため周郷会長夫人による茶道が行われ、ハインズ市長をはじめ多くの人たちがお菓子と抹茶で茶道を体験されました。使用した茶器のプレゼントもあり、大変喜ばれました。また、大月さんによる書道が披露され、お手本をまねてタイラーの人たちも筆を持ち、書道を楽しまれました。次回2017年は姉妹都市締結から25周年になるので、この年に八千代市にご招待できるよう検討の上ご返事したいとのことでした。今回、若い人たちが訪問団の一員として国際交流を直接体験できたことは、大変良かったと思っています。これからもタイラー市とは友好関係は続け、輪を広げていきたいと思っています。(小林公孝)

# 写真で見る 2015年姉妹 都市交流 タイラー



▲市役所でハインズ市長に記念品を渡す周郷会長。真ん中はシティー・マネージャー



▲ハインズ市長から秋葉市長へ「絵画」が贈られました

▼第82代ローズ・クィーンと記念撮影する小林ご夫妻と嶋野さん

▼秋葉市長と周郷会長へテキサス・レンジャーズのユニフォーム等がプレゼント



▲グレードウォーター・オプリーで音楽鑑賞後、ミュージシャンと記念撮影



▼T J Cで腹腔鏡手術のデモンストレーションを見学する親善訪問団



▲書道を披露する大月さん



▲周郷会長夫人が「茶道」を披露。お茶碗はタイラー市の皆さんへプレゼント



▲ローズパレードを見学する訪問団



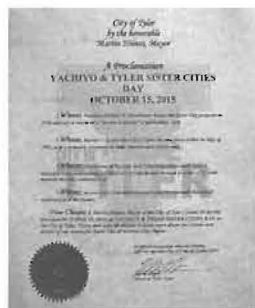
◀消防署のスタッフと記念撮影する女子学生ら

周郷ご夫妻とお孫さんがパレードに参加



▼A L Tのダイアナさんのご両親（右側）と記念撮影

▼アンティー・カルソーさんのお家でホーム・ビジットを楽しむ小林ご夫妻と嶋野さん（小林部会長が撮影）



▲10月15日を「姉妹都市の日」とした声明書英語原本





# 発足10周年を迎えて

## 国際姉妹都市部会

部会長 小林公孝



協会発足10周年、お祝い申し上げます。1991年12月にタイラー市と姉妹都市提携案を市議会において全会一致で可決し、1992年5月タイラー市にて、8月八千代市で調印式を行い国際姉妹都市事業が正式にスタートしました。

2006年1月に八千代市国際交流協会として発足以降、親善訪問団派遣は通算10回、タイラー市からの親善訪問団受入れは通算10回の事業を継続してまいりました。当部会としては、これからもタイラー市を含む多様な国際交流活動を推進し、市民相互派遣、文化、教育等多面的な交流を続けてまいります。多くの市民が外国と直接接することにより、国際的な視野や見識が醸成され世界平和につながることを願っております。

## 語学ボランティア部会

部会長 瀬下和正



協会が10周年を迎えまして、誠にありがとうございます。部会を代表してお祝い申し上げます。1991年発足した当部会は、既に24年間の活動実績があり、現在でも継続発展を続けています。協会が発足以来、外国語を使用し多くの外国人にサポートが出来たことを嬉しく誇りに思います。最近では、外国語に興味のある若い方が増え、特に仕事を持ち、子育て中のヤングママさんがその中心です。今、事業は子ども同伴をOKとし、講演会には託児室を設けることにより、若い後継者が着実に育ってきています。今後、彼らが通訳として大きく育ち、得意の外国語で国内外の外国人にサポートを実行してくれることを望みます。

## 日本語指導ボランティア部会

部会長 齋藤貴美子



八千代市国際交流協会誕生の生みの苦しみは、準備委員会を重ねる中、山口勇氏のご尽力がまぶたに焼き付いています。現市議で活躍中の山口勇氏に心より感謝申し上げます。村上公民館の月曜教室から始まった日本語教室も25年の歳月を経て、9教室とアミーゴこども教室の10教室に発展しました。草創の美川克子さんはじめ優秀なボランティアの皆様の献身的な活動と市側のバックアップの賜物です。30か国を超える海外からの学習者にとって日本語教室は、生活に必要な日本語を学ぶだけでなく、心の安全地帯としての機能も果たしており、教室に国境はありません。草の根の国際交流は日本語教室から始まっていることを私たちは確信しています。

## 国際交流促進部会

部会長 岩井 寛



協会発足10周年を迎えるに当たり歩みを見ますと、協会の発足時の経緯が引き継がれた形での運営に終始し、新たな八千代らしい国際交流の市民への提言・提供、そして会員が培ってきたキャリアや国際感覚の活用など十分活用することが出来ずに来たように思います。日本にお迎えする外国人2千万人を目標としている今、協会の発展、会員の意識高揚、運営のための財政を考えると、役員構成など硬直化しないように努めていかなければならないと考えます。人と人の交流を通して文化・産業交流となり、それが更に強い人とひとの交流の絆を育んでいくと考えますと、協会は多くの外国人と多文化に触れる機会の提供を求められています。

## 平成27年度予算

### 概要は次のとおり

八千代市国際交流協会の平成27年度予算が平成27年4月26日に行われた総会で決まりました。その概要は次のとおりです。

#### ●収入

単位：円

科 目	金 額
1. 会費収入	582,000
2. 補助金	1,600,000
3. 繰越金	234,078
4. 雑収入	922
合 計	2,417,000

#### ●支出

単位：円

科 目	金 額	摘 要			
1. 事業費 1,786,000	1. インターナショナルデー 300,000	謝金	140,000	出演者・協力者謝金	
		需要費	150,000	ポスター制作・事務用品など	
		役務費	10,000	イベント告知など	
	2. 広報事業費 170,000	需要費	120,000	広報紙「cliP」印刷	
		委託料	50,000	HP制作委託料	
	3. 部会事業費 1,316,000	部会事業費	1,316,000	国際姉妹都市部会、日本語指導ボランティア部会、語学ボランティア部会、国際交流促進部会、タイラー親善訪問等推進業務	
	2. 事務費 534,000	1. 事務費 534,000	需要費	165,000	事務用品・会議用茶菓代
			役務費	145,000	会議通知・資料送付・電話代等
			備品費	40,000	備品
			人件費	134,000	事務職員給与等
研修費			10,000	研修参加費補助	
負担金			10,000	千葉県国際交流センター団体会費	
交際費			30,000		
3. 予備費 97,000	1. 予備費 97,000	予備費	97,000		
合 計	2,417,000				

## ■日本語指導ボランティア研修会 今回は6名が参加

日本語指導ボランティアとして活躍中の人と今後ボランティアを希望する人たちを対象に、2015年7月4日(土)午後1時30分から八千代市多文化交流センターで日本語指導ボランティア研修会が行われました。今回は6名が参加しました。

講師からは「短気でせっちな性格の人は向いていないこと」「入門から初級までは女性が向いており、各教室により教え方に相違はあるが、男性は初級からの方が良いこと」「現役、リタイア関係なくボランティアをする人はみんな一線にあり、個々が持っている能力を惜しみなく発揮し、共に学ぶ心構えが必要であること」などを伝え、大切なことは、まず自分の目で

## ■第9回夏休みこども日本語教室 八千代市多文化交流センターで開催

第9回夏休みこども日本語教室は、八千代市多文化交流センターで2015年8月22日(日)に開催され、7か国21名が参加しました。

グループに分かれ取り組んだのは「ジャンボかるた作り」。ひらがなの一文字を選び絵を書きます。どの字を選ぶか、選んだらどんな絵を描くかをグループで相談し、段ボールに画用紙を張り絵を描く、読み札を考えて書くと手分けをしました。午前中で出来上がるか心配しましたが、見事完了。午後は近くの公園で「カルタ取り」。読み札を聞いて一斉に走り、絵札を見つけて取ります。自信のない子も目の前の札をねらって、2枚、3枚と取って大喜びでした。力を合わせて作っ

## ■インターナショナルデイは10回目 多文化共生をテーマに舞台上で熱演

第10回八千代インターナショナルデイが2015年9月6日(日)フルルガーデン八千代噴水広場で開催され、多文化共生のメッセージを意識したステージを展開しました。

今年の演目は、在日ブラジリアンファミリーのアットホームなバンド演奏やプロミュージシャンによるカントリーミュージック、日本でもおなじみの名曲「コンドルは飛んでいく」をペルーミュージシャン2人と日本人のトリオで聴かせ、市内在住スリランカ出身の青年は日本との絆についてトークライブ。また、プログラムの最後に登場したフラメンコチームはスペインの風を運び、会場を華やかに盛り上げてくれました。

そして、忘れてはならない八千代高校和太鼓芸能集団鼓組は、今夏関東大会6連覇を果たし、その実力ある演奏に加え、イベント会場の設営から運営まで、若い力とチームワークを存分に発揮してくれました。



▲今回参加した受講生たち

各教室を回り、雰囲気などを把握し、参加教室を前もって電話をしてから見学してほしい旨のお話があり、受講生からは大変充実した研修会であったという声が聞かれました。(美川克子)



▲近くて便利な多文化交流センターで開催

たカルタを、広い公園で思い切り走って取ったことで大いに盛り上がりました。

例年のように、八千代警察署、八千代市、八千代市教育委員会、東京成徳大学のご協力、更にはアミーゴ卒業生の参加など、今回までの活動の経験が生かされたことを感じました。(田仲泰子)



▲大いに会場を盛り上げてくれたフラメンコ

盛況のうちに無事終わることができましたが、多文化共生の想いを一つに更なる発展を期待します。今後も各国の方たちとの交流を深めていけるようなイベントにしていきたいと考えています。

なお、東あられ本舗さんには今年もご協賛をいただきました。(花鳥美記)

## 第15回語学研修バス旅行 ALTと秋盛りの甲斐路を満喫

ALT(外国語指導助手)が同行しての語学研修バス旅行を2015年10月23日、24日に実施しました。参加者はジェニー、ジェシカ、ジェニファー、ダイアナ、ジャズミンのALT5名で総勢15名でした。子供連れの親子が初めて参加。旅行先は秋盛りの山梨で中央道を通り東武鉄道創設者の根津嘉一郎記念館、フルーツ公園、桔梗屋を訪問し、石和温泉のホテルではALTによる日本と米国の授業方式の違い、また各州の運転年齢、

## ハロウィーン・パーティー 3回目でALT6人が協力

今年で3回目の開催となるハロウィーン・パーティーが2015年10月25日(日)に八千代市福祉センターで開催されました。

今年度は、東葉線沿線駅掲示板での告知とWebによる募集で参加者を募り、30数組の参加者が集まりました。パーティーではALT6人の指導のもと、ほとんど英語通訳なしでゲームやダンスを楽しみ、大いに汗をかいたようです。パーティーを見ていて気が付いたことは、例年になく子どもたちはALTたちの英語

## 第9回日本語スピーチ大会 今年は特色ある出場者を中心に

2015年11月1日(日)、八千代台東南公共センターで八千代市との共催で第9回八千代市日本語スピーチ大会が開催されました。市内10教室で学ぶ生徒たちの授業の一環として催されたもので、今年の特色は出場者を学び始めて間もない生徒たちを中心にしました。また、審査員も一新し比較的最近講師のボランティアになった人とベテランとの混成とし、新鮮な感覚で審査頂きました。当日は11か国15名が登壇、スピーチのレベルも予想以上の出来栄で登壇者やその家族・友人を含め、会場の80名近くの聴衆の皆さんも感心しておりました。今年の会長賞はスリランカ出身のデイト・ランガナ・アロックゴゲタさんが受賞。大会途中には

## 第8回英語で聞く講演会 ALTがアメリカ移民の歴史を講演

第8回英語で聞く講演会が2015年11月7日(土)八千代市市民会館で開催されました。演題は「移民の波・サラダボウル国家アメリカの成り立ち」で講師はALTのジェシカ・ブライアント先生でした。先生は姉妹都市タイラー市出身で八千代市のALTは二度目で昨年夏に再来日しました。移民国家、多民族国家の成り立ちを多方面から講演頂き、大変興味のある素晴らしいお話でした。アメリカは以前メルティングポット

結婚年齢の違い、生徒の給食事情など興味深い話で盛り上がりました。宿では和食と温泉を堪能し、翌日は甲府城を訪問し、武田神社では丁度七五三を見学。そ



▲ALTとの研修は大変役立ちましたの後昇仙峡の散策、最後にシャトレーゼ工場でアイスクリームを大いに賞味しました。お天気にも恵まれ大変楽しい秋の甲斐路の旅を満喫しました。(喜田茂)



▲参加した子供たちとALTで記念撮影

で話しかけることを理解して答え行動していることでした。改めて幼少の時期から多文化に触れることの重要性を垣間見ました。(岩井覚)



▲今年も受賞者と一緒に記念撮影

市長も駆けつけられ一段と雰囲気が高まりました。スピーチの発表後は簡単な茶菓を楽しみながらスピーチの出来栄を話し合うなど和やかな雰囲気で大大会を終了いたしました。来年は第10回と節目の大会です。関係者一同も力はいりそうです。(江川典一)

と呼ばれていましたが、今はサラダボウルと呼ばれます。欧州、アフリカ、アジア、中米、ネイティブアメリカンの多文化共生は将来の日本の参考になります。一般公開講座として広報やちよとホームページで参加を呼び掛け45名の参加がありました。また託児室を初めて設けヤングママに同伴された数名の幼児・児童が利用しました。(河合晴子)



▲講演するジェシカ・ブライアント先生

また託児室を初めて設けヤングママに同伴された数名の幼児・児童が利用しました。(河合晴子)

## ■ オープン・セサミ (開けゴマ) 7月から毎週水曜日に実施

オープン・セサミ(開けゴマ)は、八千代市国際交流協会事務局が八千代市多文化交流センター2階に移転したことで、いつでも人が集まれる場所、協会関係者がいることを活用して、チャット・サロンとして7月から毎週水曜日に開催しています。在住外国人、海外で仕事や旅行でいろいろな文化に触れた経験をした人、また海外に関心のある人が集い、自由に話し合い、談論風発の時間を楽しもうという集まりで、毎回5人

から8人くらいの出席で行っています。

趣旨に賛同される方は、是非参加されてみてはいかがでしょうか。お待ちしております。(岩井寛)



▲新しく発足した「オープン・セサミ」

## 平成27年度篤行者表彰 山田桂三氏が受賞



山田さんは、1999年4月から八千代国際姉妹都市委員会会員として、また2006年からは八千代市国際交流協会会員として活躍をし、特に2004年のタイラー市訪問団の受け入れ時には、タイラー市訪問者同窓会の世話人代表として「姉妹都市提携12年の歩み」をまとめることに尽力されました。タイラー市訪問時には日本の文化を紹介するため、英語の説明がついた絵本「サムライの娘」を4回の訪問で合計20冊ほど持参し、関係者に贈呈しました。

また、2012年の姉妹都市提携20周年記念訪問時には「訪問時のタイラーVIP(12人)の横顔」を記録担当として作成し、訪問者全員に配布するなど、姉妹都市交流実績の記録に尽力されました。(三橋伸一郎)

## 会員募集中

八千代市国際交流協会では会員を募集中です。詳しくは事務局(TEL.047-752-0593)へお問い合わせください。年会費は個人2,000円、家族3,000円、学生1,000円、団体会員10,000円となっています。また、新しい情報はホームページをご覧ください。アドレスは次のとおりです。〈<http://www.yia-kokusai2006.com>〉

八千代市国際交流協会

検索

## 八千代へようこそ

市内の中学校では、現在6人の外国語指導助手(ALT)が英語の指導をしています。9月に着任された2人の新しい先生をご紹介します(「広報やちよ9月15日号」から)

### ■ 日本の文化を楽しみたい

ダイアナ・ペンバートンさん  
(アメリカ・タイラー市)



昔から日本の文化に興味があり、特に書道、着物が好きです。日本食も大好きです。おそばは最高ですね。皆さんに楽しく英語を学んでもらえるよう頑張りたいです。そして将来、外国に行って新しいことにもチャレンジしてほしいです。

### ■ 八千代の子どもたちが大好きです

ジャズミン・ブーンさん  
(アメリカ・ノースカロライナ州)



八千代の子どもたちは、とても人なつこくて優しいですね。大好きな歌、ダンス、スポーツを通じて、もっと仲良くなりたいです。英語の勉強は難しくはありません。勉強を楽しみながら、皆さんの英語力を伸ばせるようお手伝いしたいです。

## 新しい事務員が着任

平成27年10月1日付けで新しい事務員が着任しました。着任したのは三橋伸一郎さんで、元八千代市職員です。平成2年度から平成8年度まで国際交流を担当。現在、三橋さんは八千代市多文化交流センターで木曜日・土曜日・日曜日に勤務しており、27年度中はこのままでのことです。したがって10月からの勤務日は、毎週水曜日午前9時から午後4時までの1回となります。平成28年度からは週2回程度になる予定です。

## 編集後記

今年度の大きな行事であったタイラー市の親善訪問は、交流の輪を広げ10月無事に終了。各部会が主催した日本語教室、日本語スピーチ大会等が例年通り行われ、チャットルームのような新たな企画が実行され活動が着実に根付いています。インターナショナルデーでは市内在住の外国人が素晴らしいパフォーマンスを提供し多文化に触れることができました。八千代高校の鼓組の若さにあふれ迫力ある演奏は感動的で深く心に刻まれています。これからは若い世代と手を組み活動することが必要です。国際交流を身近に感じ国際交流への意識が自然に芽生える、そのような場を提供することができたら素晴らしいと思います。(瀬下和正)